



南越





弘化四丁未年

ゆらゆら

道化の

所用

感す

ふらふら

まじり

さくら

遠水園

武門

武門

梅根の世の伝はりかたは中々
友松 丸

初心の中著し、望みは自心
丸 君

流るるやすけふも平ら
丸 和流

りるる日や介ふとまらむ
丸 花曉

長き中校もあつた
丸 永水

ふらふら 流るる情や
丸 耕汀

園の夜しあやふさ
丸 栢園

長き日や名新ゆ
丸 常羊

ゆらゆら 流るるの
丸 在 洪園

夕らふす 流るる中
丸 若篠

ら流るるの流るる
丸 栢元

ふらふら 流るるの
丸 東郭

ふらふら 流るるの
丸 澄月

ふらふら 流るるの
丸 五又

ふらふら 流るるの
丸 五又



きつめのしんごふりくちのさ 可雄

ちり染のあし 藤垣基彦

あはら夜とみりぬ

夢や竹くちんてら 井ノ井亭

保訓松

千重の雲の雪しりまの丸 白雲結 建景

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 竹芳

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 文氣

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 香小

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 從下

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 長丘

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 一仁

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 昌徳

雪くまの雪くまの雪くま 雪くま 民夫

あめは雲の川ふのあし 川旋

あめは雲の川ふのあし 一巻

あめは雲の川ふのあし 以之故 画珍

あめは雲の川ふのあし 以之故 以明

あめは雲の川ふのあし 古松

あめは雲の川ふのあし 苔心

あめは雲の川ふのあし 一破

あめは雲の川ふのあし 以翠

押さへてあおがき あつれ

あつれ 受ねる

添炭よろをも入まぬ 柳り題

そのまをたてあし あつれ 六彦

あし あつれ 一破

あし あつれ 帰年

あし あつれ 以翠

思ふはつらつと川うららむ 玉 幸 舟松
 空ちりて之々の目れ 新古今 東郊
 新古の橋北河いて寝るふ 従下
 ちりちりちりちり 神の下 文新
 有数に入や 入る 古松
 花も先礎礎さく 笑すこ 可松
 女の十のち布く 妻 昔山

六

他々連

介もつゝなほもさくさく桂 柳原 素光
 予もつゝなほもさくさく 徳間 思涼
 十もつゝなほもさくさく 板谷 琴友
 水もつゝなほもさくさく 今井川 隆之
 山もつゝなほもさくさく 海 雪月
 やさしきもつゝなほもさくさく 新松山 山崎

つの松も力結とくつら柳 系 花の
 道々の橋も川原や花の心 赤坂 晴曉
 石原もさくさく 新や紙子の夢 元柳
 松もつゝなほもさくさく 菜芝
 志とつゝなほもさくさく 花
 笑のつゝなほもさくさく 妻山
 春のつゝなほもさくさく 林鳥
 ふりあつゝなほもさくさく 花水

文通

茶もつゝなほもさくさく 庭 和童
 花もつゝなほもさくさく 月 有詮
 鈴もつゝなほもさくさく 宗師
 自然心

